

豊田自動織機 第七次環境取り組みプラン 2024年度実績(1/2)

項目	取組み方針	実施事項、目標	2024年度実績																
脱炭素社会の構築	生産活動におけるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">・ 低CO2生産技術の開発・導入・ 日常改善活動のやりつくし・ クリーンエネルギーの積極的導入 <div>〔CO2排出量の削減〕</div> <table><tr><th>範囲</th><th>項目</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>グローバル</td><td>総排出量</td><td>2013年度比25%減</td></tr></table> <div>〔再生可能エネルギーの導入〕</div> <table><tr><th>範囲</th><th>項目</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>グローバル</td><td>導入率</td><td>15%</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・ CO2以外の温室効果ガスの管理	範囲	項目	2025年度目標	グローバル	総排出量	2013年度比25%減	範囲	項目	2025年度目標	グローバル	導入率	15%	<ul style="list-style-type: none">・ 高圧エア系統の廃止によるCO2削減(刈谷)・ インバーター導入によるエアコンプレッサーの高効率化(TACI_インドネシア)・ 蒸気利用の廃止による天然ガス使用量の削減(TDDK_ドイツ)・ 敷地内倉庫の屋上への太陽光パネルの設置(NVIC_北米) <div>〔CO2排出量の削減〕</div> <table><tr><th>2024年度実績</th></tr><tr><td>2013年度比36%減</td></tr></table> <div>〔再生可能エネルギーの導入〕</div> <table><tr><th>2024年度実績</th></tr><tr><td>再エネ電力導入率26%</td></tr></table>	2024年度実績	2013年度比36%減	2024年度実績	再エネ電力導入率26%
	範囲	項目	2025年度目標																
	グローバル	総排出量	2013年度比25%減																
範囲	項目	2025年度目標																	
グローバル	導入率	15%																	
2024年度実績																			
2013年度比36%減																			
2024年度実績																			
再エネ電力導入率26%																			
生産物流におけるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">・ モーダルシフトや積載効率の向上等による輸送効率の改善 <div>〔物流CO2排出量の削減〕</div> <table><tr><th>範囲</th><th>項目</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>グローバル</td><td>排出量原単位^{*1}</td><td>2013年度比11%減</td></tr></table>	範囲	項目	2025年度目標	グローバル	排出量原単位 ^{*1}	2013年度比11%減	<ul style="list-style-type: none">・ 輸送効率の改善による排出量削減 <div>〔物流CO2排出量の削減〕</div> <table><tr><th>2024年度実績</th></tr><tr><td>2013年度比12%減</td></tr></table>	2024年度実績	2013年度比12%減									
範囲	項目	2025年度目標																	
グローバル	排出量原単位 ^{*1}	2013年度比11%減																	
2024年度実績																			
2013年度比12%減																			
製品技術開発によるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">・ エネルギー効率のさらなる向上に寄与する技術開発・ 電動化に対応した製品技術開発・ 軽量化技術の開発・ エネルギーロスの削減・ 水素社会に向けた技術開発	<ul style="list-style-type: none">・ 新型燃料電池フォークリフトを開発・発売・ 自社製品を活用したエネルギー・マネジメントシステムを開発・ 電動化に対応した製品技術開発の継続																	
循環型社会の構築	生産活動における資源の有効活用の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 歩留り向上などの発生源対策 <div>〔廃棄物排出量の削減〕</div> <table><tr><th>範囲</th><th>項目</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>単独</td><td>排出量原単位</td><td>2013年度比12%減</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・ 各国、各地域の水環境事情を考慮した水保全活動の推進・ 梱包用資材の使用量削減	範囲	項目	2025年度目標	単独	排出量原単位	2013年度比12%減	<ul style="list-style-type: none">・ 高速沈殿槽清掃方法変更による廃棄物量の削減(刈谷) <div>〔廃棄物排出量の削減〕</div> <table><tr><th>2024年度実績</th></tr><tr><td>2013年度比23%減</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・ 雨水の貯留と利用による水資源の保全(TIEI_インド)	2024年度実績	2013年度比23%減								
	範囲	項目	2025年度目標																
単独	排出量原単位	2013年度比12%減																	
2024年度実績																			
2013年度比23%減																			
資源を有効に利用するため、3R設計（リデュース、リユース、リサイクル）への取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 長寿命化による、資源使用量削減・ 標準化、モジュール化、部品点数削減による資源使用量削減・ 小型、軽量化による資源使用量削減・ 部品、素材のリユース、リサイクル推進	<ul style="list-style-type: none">・ 高品質な製品とサービス体制の提供による、製品の長寿命化と製品価値の長期維持の実現・ 各事業分野にて資源使用量削減に資する製品開発の継続																	

豊田自動織機 第七次環境取り組みプラン 2024年度実績(2/2)

項目	取り組み方針	実施事項、目標	2024年度実績
自然共生社会の構築と環境リスク低減	生産活動における環境負荷物質排出量の一層の削減	・ 効率的な生産活動の推進によるVOC ^{*2} などの環境負荷物質のミニマム化	・ 継続的なVOC取扱量の低減
	各国・各地域の都市大気環境改善に資する排出ガス削減	・ 規制を先取りしたエンジンの開発	・ 新型エンジン開発
	製品含有化学物質の管理	・ 製品含有化学物質の調査、SVHC ^{*3} などの有害物質の切替管理	・ 海外子会社の管理体制強化 ・ 抜き取り検査実施によるSVHCの市場流出未然防止
	生物多様性への取り組み強化	・ 各工場の特色を活かし、地域の生物多様性保全に寄与 ・ 地域関係者・有識者を巻き込んだ活動推進、従業員への理解浸透	・ オールトヨタグリーンウェブプロジェクトに参画 ・ 自社事業所内での生物多様性保全活動の実施
環境マネジメントの推進	連結環境マネジメントの強化、推進	・ 各国、各地域の環境関連法の遵守 ・ リスク低減活動の強化による環境異常の未然防止 ・ 各国、各地域でトップレベルのパフォーマンスの達成	・ 未然防止活動の推進 ・ 国内外生産子会社を対象とした環境リスク点検の実施
	意識啓発活動と教育の充実化	・ グローバル環境宣言の実現をめざして知識/意識を高め、自発的な行動を促進	・ 社長メッセージを国内外連結子会社に発信 ・ 環境マネジメント教育の実施
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	・ グリーン調達ガイドラインに基づく、法順守の徹底、および環境パフォーマンス向上の推進	・ 国内関係会社環境連絡会の開催 ・ 中国拠点環境連絡会の開催
	環境ブランドイメージの向上	・ 環境活動の積極的な情報開示によるブランドイメージの向上	・ CDP「ウォーターセキュリティ」：「A-」ランク ・ 温室効果ガス削減目標のSBT認定を取得

*1：事業毎に生産量や売上高あたりの排出量を原単位として管理しており、それらの削減率の加重平均値を指標として管理

*2：Volatile Organic Compoundsの略、揮発性有機化合物

*3：Substances of Very High Concernの略、高懸念物質